

逆転のチャンスがあるならやるしかない

経済学部経済学科 小林賢斗  
(兵庫県立 北条高等学校出身)

### 1.大学入学前はどのように過ごしていましたか？

高校時代はソフトテニス部に所属していましたが、サボり癖があり、あまり真剣に取り組んでいませんでした。勉強面では、深く考えずに理系に所属した結果、どんどん勉強が苦手だと感じるようになり、最終的には第一志望の大学には不合格になりました。

### 2.上級キャリアコースに入ったきっかけ・理由は？

「諸君はなぜ今ここにいるのか」というコース担当教員・大谷先生の言葉です。非常に厳しい言葉であり、「なぜ、もっと上位の大学に入れなかったのか？」という意味を含みます。自身の努力不足がその理由であり、もう後がないという現実を入学直後に突き付けられるかたちとなりました。一方で、私と同じような境遇にあった先輩でも、多くが大手企業に就職しているという事実からは、まだ逆転のチャンスが残されているということも知りました。これらが、上級キャリアコース(以下、上キャリ)への参加を決意するに至った理由です。

なお、上キャリに所属するならば、大谷先生が放課後や長期休暇中に実施してくださる無料課外講義やそれに付随する合宿にも参加して当然だと思ってください。競争的な環境で勉学に打ち込み、学業や就活での成果を実現するところです。やる気・覇気が不十分な者には、居場所はありません。

### 3.上級キャリアコースは厳しいのか？

初めは厳しいと感じました。1秒でも遅刻は許されないこと、メンバー間で情報を共有し空気を読みつつ先回りして行動すること、メールのチェック・リプライは迅速に行うこと、常に結果を求められること(成績は公表されます)など、すべての行動に関して指導が厳しい上に細かいのです。しかし、これらの規範は、冷静に考えてみると社会人としては出来て当たり前のことばかりです。私でも対応できるようになりましたので、みなさんも大丈夫だと思います。ポイントは、社会人としてダメなことは、上キャリでは一切認められないということです。

### 4.上級キャリアコースで活躍するタイプは？

周りを巻き込んで仲間と共に努力できる、明るく元気でコミュニケーション能力の高い人です。上キャリでは、ERE(経済学検定)やテストに向けて日々勉強する必要がありますが、良好な成果を挙げている人は1人で努力しているというよりも、勉強会を開くなど周りを巻き込んで一緒に努力をしている人ばかりです。ここでいう周りとは、同輩だけでなく先輩・後輩も含みます。上キャリでは、高校時代に体育会のクラブに属していた人を求めている

ますが、その背景には上のようなかたちでチームワークが求められるという理由もあります。

#### 5.上級キャリアコースの強みは？

大手企業に就職したOB・OG 達が多くいることです。もし自分が就職したいと思っている企業に上キャリアの先輩がいたら、大谷先生に相談すればすぐに連絡してもらうことができます。つまり、年の近い先輩だけでなく実際に企業で活躍されている先輩ともコネクションを築くことが可能です。このことは上キャリアの一番の強みであると思っています。

#### 6 コース担当教員の大谷先生ってどんな人？

今の時代には少ない熱血教師です。最初はただただ厳しい先生だと感じるが多々ありました。ですが、厳しい反面どの先生よりも学生思いであり、私たちが最後まで努力するのなら最後まで見捨てることなく徹底的にサポートしてくれる熱い人です。

上キャリアで過ごした4年間はハードな日が多かったですが、仲間とともに大谷先生を信じて頑張ってきた時間は最高の思い出です。